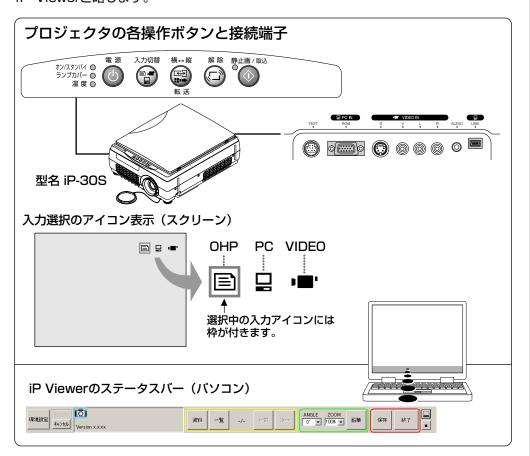
#### インテリジェントプロジェクタ専用

# iP Viewerソフトウェア クイックリファレンス

Version 1.3.XX (Xは任意の数字)

インテリジェントプロジェクタのiP Viewerソフトウェアの基本的な使いかたを記載しています。詳細については、iP Viewer取扱説明書をご覧ください。

以降インテリジェントプロジェクタはプロジェクタ、iP ViewerソフトウェアをiP Viewerと略します。



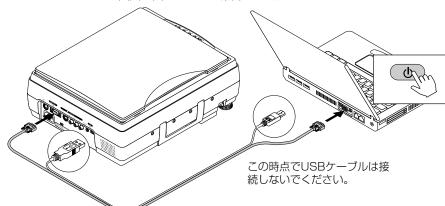
# ステップ 1 接続とiP Viewerの起動

**】** プロジェクタの電源を入れ、[PC] に切り替える。

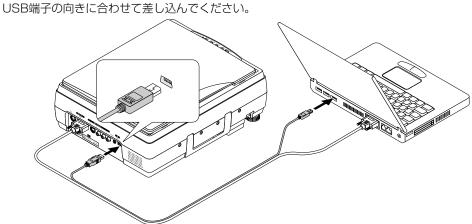


**2** RGBケーブルを接続し、パソコンを立ち上げる。

プロジェクタ側とパソコン側でUSBコネクタの形状が異なりますので注意してください。 プロジェクタにパソコンの画面が出ているかを確認してください。



**3** USBケーブルを接続する。



**4** [iP Viewerを起動します] の 画面を表示しますので [OK] ボ タンをクリックする。

iP Viewerが起動します。



5 iP Viewer取扱説明書はiP Viewerの[環境設定]画面の[取扱説明書を見る] ボタンをクリックして見ることができます。

iP Viewerは、パソコンにはインストールされません。 プロジェクタとUSBケーブルで接続することで起動し ます。



# ステップ 2 パソコンと接続してできること

OHP画面、パソコン画面、ファイルの登録投写や取り込み資料の加工等が行えます。

入力切替

# ●OHP投写画面の保存(スキャナ機能)

A4サイズまでの資料が登録できます。

《プロジェクタ側の操作》

(一旦プロジェクタのメモリに保存します) **1 入力を [OHP] に切り替える**。

**2** 資料をガラス面にのせ、取り込み位置を調整する。



**3** [静止画/取込] ボタンを押す。

取込中は投写画面上に"USB"を表示します。 "USB"の表示が消えれば、次の資料の取り込みができます。

複数保存するには、2、3の手順を繰り返します。



入力切替

横⇔縦

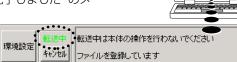
**4** 入力を [PC] に切り替え [転送] ボタンを 押すか、または入力が [OHP] のときは、 [転送] ボタンを長押しします。

パソコンへの転送が始まります。



5 "転送中"が緑色表示する。

完了すると "転送中" の表示が消え (薄いグレイ)、赤字で "プロジェクタからのファイル転送完了しました" のメッセージが表示されます。



**6** 転送データを確認するには [一覧] ボタンを クリックして、一覧画面を表示させる。

もどる場合は、[閉じる] ボタンをクリックします。 表示したい資料をクリックすると全画面表示されます。 で注意: 一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

### ●PC画面の保存(画面キャプチャ機能)

パソコンで表示しているエクセル、ワード、ブラウザ等の画面をキャプチャして登録します。

**1** ステータスバーの [最小化] ■ボタンをクリックしてiP Viewerを最小化する。



**2** アプリケーションを起動して保存したい画面を表示させる。

3 [画面キャプチャーツール] **(る) をクリックしてキャプチャする画面を一番前に表示させる**。カメラアイコン **(る)** をクリックするごとに後ろのウインドウが一番前に出ます。



4 [取込] 取込 ボタンをクリックして登録する。 カメラアイコン で をクリックして、iP Viewer画面を前に 出します。 キャプチャした資料は一覧画面でで (カメラ) マークが付



**5** 再びiP Viewerを表示させる。

きます。

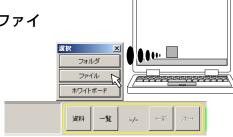
タスクバーの 😭 p-viewer をクリックします。

• iP Viewerでキャプチャして保存したパソコンの画面は ハードコピーした画面です。この画面でアプリケーション の操作は行えません。操作を行う場合はカメラアイコン ioi をクリックしてアプリケーション画面に戻してく ださい。



### ●画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み

[資料] ボタンをクリックし、[ファイル] ボタンをクリックする。



**2** 画像ファイルやPowerpointファイルを 選択し[開く] ボタンをクリックする。

Powerpointファイルは、自動でJPEG形式に変換され、始めのページを投写します。



# ● 取り込みデータの加工

鉛筆ツールを使用して登録した資料に線や文字を書き加える、向きを変える、大きさを変える、画像を移動する(投写画面より大きな画像の場合)ことができます。 資料を加工(表示)すると加工後の画像が編集画像一覧に登録されます。

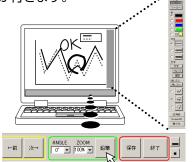
元資料(原画)は、取込画像一覧に登録されています。

一覧表示ではキャプチャーした資料にカメラマークが付きます。

### 《投写資料に書き加える》

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、ペンの太さや色を選択して描画します。文字をキーボードから入力することもできます。

使いかたはiP Viewerの取扱説明書をご覧ください。



#### 《ホワイトボードを表示し加工する》

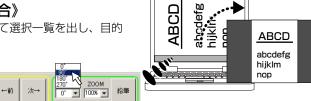
[資料] をクリックし、選択画面の [ホワイトボード] を選択すると白画面を表示します。

[鉛筆] ボタンをクリックして、鉛筆ツールを表示させ、 鉛筆ツールを使って文字や線を描いたり、文字入力を 行います。



# 《資料の向きを変える場合》

ANGLEの [▼] をクリックして選択一覧を出し、目的の角度をクリックします。



#### 《資料の大きさを変える場合》

ZOOMの [▼] をクリックして選択一覧を出し、目的の拡大率をクリックします。

投写画面より大きく拡大した資料は、スクロールバー で位置の移動ができます。



# ステップ3プレゼンテーションの実施

プレゼンテーションを実際に行う場合の操作の流れと要点を記載しています。

# 1 資料の登録を始めに行う。

登録には3通りあります。

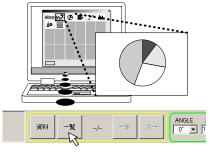
- · Powepointファイル資料の場合:"ステップ2"の"画像ファイル、Powerpointファイルの取り込み"を参照
- ・プロジェクタのOHPから取り込んだ画像を資料にする場合:"ステップ2"の"OHP投写画面の保存(スキャナ機能)"を参照
- ・Powepoint以外のアプリケーションを資料にする場合:"ステップ2"の"PC画面の保存(画面キャプチャ機能)"を参照

# 2 一覧表示から資料を選んで投写する。

[一覧] ボタンをクリックして一覧画面(サムネイル)を表示させ、目的の資料をクリックします。

# 3 ページを切り替える。

[次→] または [←前] ボタンをクリックして切り 替えます。



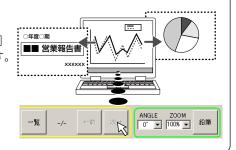
### こんなとき……

会議中の投写資料に書き加える、向きを変える、拡大/縮小する場合:

"ステップ2"の"取り込みデータの加工"参照

#### スライドショーとして使用する場合:

- [資料] → [フォルダ] → [フォルダの参照] から対象フォルダを選択し、一括登録します。 最初の資料が投写されます。
- 2) [次→] をクリックするごとに、ページが順 に切り替わります。



# ステップ4 プレゼンテーションの終了

# ●保存資料の確認と不要資料の削除

一覧より表示した資料は編集画像として残ります。

ご注意:一覧表示中はメニューバーのボタンは動作しません。

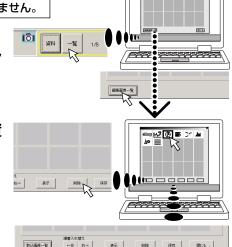
【一覧】ボタンをクリックし、取込画像一覧画面の「編集画像一覧」ボタンをクリックする。

編集画像一覧画面を表示します。

**2** 不要な資料を削除するときは、不要資料をクリックし、[削除] ボタンをクリックする。

編集画像一覧で表示している資料が保存操作で保存されます。

**3** [閉じる] ボタンをクリックして一覧表示を閉じる。



# ●編集資料を保存する(データセーブ機能)

**】**[保存]ボタンをクリックする。

保存先指定画面を表示します。 前回の保存から変化がなかった場合は、終了画面 を表示します(「終了する」参照)。

2 保存条件を選択する。

自動でフォルダを作成する場合は、"日付フォルダを自動的に作成して保存"にチェックを入れます。 自分でフォルダを作成する場合は、チェックを外します。

3 保存先を指定する。

[参照] ボタンをクリックするとフォルダの参照画面を 表示します。

保存するフォルダをクリックして [OK] ボタンをクリックしてください。

チェックを外した場合(自分でフォルダを作成)は[新しいフォルダの作成(M)]をクリックし、フォルダ名入力後[OK]ボタンをクリックしてください。

4 [保存] ボタンをクリックする。 保存を開始し、保存先指定画面が閉じます。



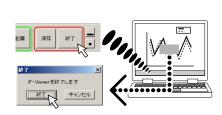
議事録フォルダ 登録データフォルシ

### ●終了する

[終了] ボタンをクリックする。

終了確認画面を表示します。 確認画面の [終了] ボタンをクリックすると

確認画面の「終了」 ホタンをグリックするとiP Viewerを終了します。



※保存先は必ず指定してください「編集画像をPDFでも出力」

プロジェクタとパソコンの接続を外すときは、パソコン側でUSBデバイスとの切断操作を行ってください。

- - ①ドライブの選択表示から [USB大容量記憶装置 デバイス-ドライブ] を選択します。
  - ②[停止] をクリックします。
  - ③ [OK] をクリックします。
  - で使用のOSによっては表示が異なります。
- **2** "USB大容量記憶装置デバイスは安全に取り外すことができます。" の表示が出たら安全に取り外すことができます。



